



令和5年9月12日

各位

会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証プライム・コード番号 2796)
問合せ先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03—3362—7130)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、令和3年12月24日に公表いたしました「中期経営計画 LSG (Leading to Sustainable Growth) 2024」の見直しを行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画見直しの背景

当社は、令和3年12月24日に令和7年5月期を最終年度とする「中期経営計画 LSG (Leading to Sustainable Growth) 2024」(以下、「本中計」といいます。)を発表し、現在、本中計の目的“日本の人口の3分の1が65歳以上の高齢者になる2030年に向け、持続的な成長基盤を築く”を達成するために、本中計の基本方針に沿った取組を推進しております。

現状では、経営環境変化並びに調剤報酬・薬価改定の影響、及び店舗開発力強化の成果を得るためには今しばらくの時間が必要であること、などから、業績は本中計の定量目標に届かない水準となることを見込まれましたので、その定量目標について見直しをすることといたしました。なお、定量目標以外の基本方針や定性目標については、現行の本中計に記載の内容から変更はございません。

2. 中期経営計画見直しの概要

○ 定量目標：令和7年5月期（最終年度）

	見直し前計画	見直し後計画
売上高	584 億円	570.6 億円
営業利益	25 億円	18.8 億円
当期純利益	11 億円	8.8 億円
ROIC ^{注1}	7.9%	6.8%

注1：ROIC (Return On Invest Capital) = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (純資産+有利子負債)

3. 定性目標の進捗状況

現行の本中計では、大きく以下の3つの施策について推進しております。

① 投資家に選ばれる会社になるための取組強化

ESG、SDGsへの取組	<p>当社ウェブサイト「当社グループにおけるESG、SDGsの主な取組み」記載の項目^{注2}につき継続的に取り組んでおります。その他として、サステナビリティ委員会において外部コンサルタントの協力の意見も取り入れ以下の2項目につき協議・検討し、本年8月に開示いたしました。</p> <p>(i) 社会への長期的価値提供に向けた当社の重要課題（マテリアリティ）</p> <p>(ii) TCFD提言に準じた、気候変動がもたらすリスク及び機会に関する事項</p>
IRの拡充	<p>令和4年5月期の通期決算に係る決算短信及び決算説明会資料以降、英文開示も開始いたしました。</p> <p>決算発表の早期化に取り組む、令和5年5当期は、前期比で、第1四半期：1日短縮、第2四半期：15日短縮、第3四半期：13日短縮、通期：3日延長となりました。</p> <p>その他、当期は個人投資家向けWeb説明会を開催し、令和5年5月期の第3四半期より決算説明会の全文書き起こし配信を開始いたしました。</p>

注2：当社ウェブサイト「当社グループにおけるESG、SDGsの主な取組み」

https://www.pharmarise.com/sustaina/initiatives_of_esg_sdgs.html

② 調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化

地域医療への貢献強化	<p>地域住民の健康意識を高め、健康寿命の延伸に貢献する「健康サポート薬局」を継続的に増加させており、本年5月末現在で82店舗となり、令和4年5月末比11店舗の増加となっております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症蔓延状況を勘案しながら、健康増進活動の支援を目的とした「継続支援プログラム」の全社的再開とプログラムのジャンル拡大を進めています。</p>
新規出店による収益獲得強化	<p>令和5年5月期においては調剤3店舗の新規開局し、M&Aにより調剤6店舗の取得、コンビニ1店舗の取得を行っております。店舗開発力強化の成果を得るについてはしばらくの時間が必要であると考えております。一方でM&Aについては、より積極的に取り組んでまいり所存です。</p>

③ 経営基盤の更なる強化

店舗オペレーション効率化・質の向上	<p>調剤店舗における処方せん入力のリモート化の推進・改善をとおして店舗オペレーションの効率化及び調剤業務に係る最新機器導入による質向上を進めております。</p>
-------------------	---

DXを活用した効率化・新たな価値提供	<p>現在、当社グループ調剤店舗において、国が進めているマイナンバーカードによるオンライン資格確認や電子処方せん受け入れは順次対応可能となっています。また当社グループ独自の電子お薬手帳「ポケットファーマシー」は、お薬手帳機能以外にも健康サポート機能やオンライン服薬指導サービス機能、オンライン決済機能、等を患者に提供しております。電子処方せん対応としては、マイナポータル内の情報取得については対応済みであり、電子処方せん送信機能については今秋中に提供開始予定です。</p>
人的資本への投資強化	<p>令和元年の子会社 10 社の統合後に人事制度を新たに策定・導入して、浸透を図っております。本制度の基本方針は、「誰もが安心して長く働けるような多様なキャリアパスを描くこと」と、「それを後押しする評価や処遇の導入」です。新人事制度においては基本方針達成のために、「等級制度」「評価制度」「報酬制度」を全面的に再設計しております。</p> <p>また教育・研修制度においても、より体系的なものとして一新し、令和2年以降導入・実施しております。</p>

以上